

リニア山梨県駅と山梨県内の状況

当課ではリニア中央新幹線中間駅地域の信用金庫との情報交流を進めておりますが、このほど山梨県へ2回目の訪問を実施し、山梨信用金庫（本店：甲府市）、甲府信用金庫（本店：同）と情報交換を行いましたので概略を紹介します。

1. 山梨県内の状況

山梨県内で工事が始まっているのは、南アルプストンネル山梨工区（早川町）のみ。

山梨県内の地上部は、甲府盆地（いわゆる「国中」）で実験線を除く部分は約15kmあり、移転対象先は相当数に上ります。その中には小学校も含まれています。「移転対象の小学校は、移転新築計画が既に決定した」とのことでした。

リニア山梨県駅周辺にサッカー専用球技場の設置が「スポーツやイベント等の開催を通して、県民に夢と希望を与える場とともに、交流人口の拡大や地域経済への波及効果を創出する」（山梨県「リニア環境未来都市整備方針 平成29年3月、以下「整備方針」）ためとして掲げられていました。Jリーグ1部ヴァンフォーレ甲府のホームグラウンドとなっている「山梨中銀スタジアム」は小瀬スポーツ公園にありますが、陸上競技トラックのある総合競技場であり、球技専用の競技場を、サッカー競技場でリニア駅周辺の賑わい創出を、との声により専用球技場構想が浮上したものです。

しかし最近の検討の中で、新球技場は小瀬スポーツ公園に設置することで決着しそう、とのこと。従って山梨県リニア駅周辺整備は球技場を設けないこととして進められます。

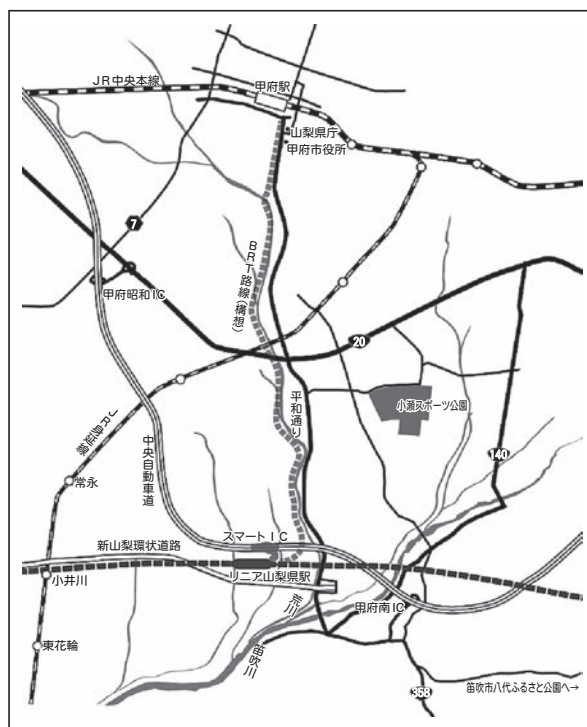
リニア駅と市中心部とを結ぶアクセスとしてBRT(注)構想が唱えられていましたが、「整備方針」では「利便性の高いバス交通ネットワークの構築」との記述にとどまっています。山梨県交通政策会議においてBRTについて論議が行われているようですが、結論には至っていない模様です。

※ BRT：Bus Rapid Transit の略で、バス専用道路、バスレーン、PTPS（公共交通優先システム）を組み合わせ、定時性、速達性を確保するもの。



JR甲府駅前 武田信玄公像と甲府の街並み

甲府市およびリニア駅周辺地図



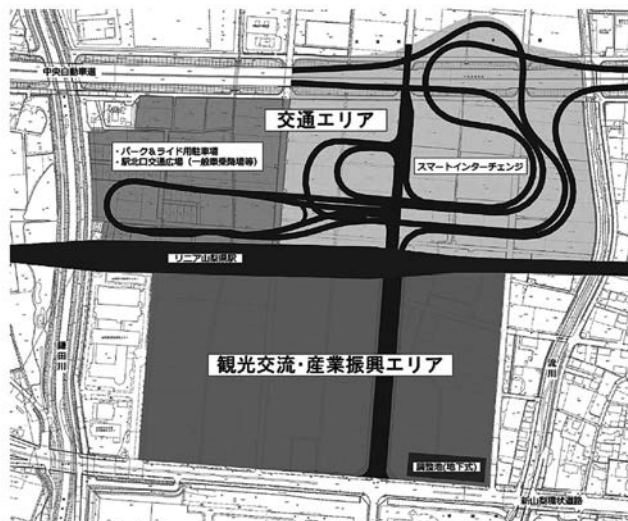
2. リニア山梨県駅周辺整備計画の概要は

前述の「整備方針」は、平成25年7月から28年1月にかけて開催された「山梨県リニア駅周辺整備検討委員会」において策定された「リニア駅周辺整備基本方針」（以下「基本方針」）と併せ、平成27年8月から28年7月にかけて「山梨県リニア環境未来都市検討委員会」での検討により策定されたものです。

「整備方針」は、リニア駅周辺整備区域を含む駅から半径4km程度を対象として「整備する施設や機能などの基本的な内容」、「まちづくりの目指すべき姿とその実現に向けた取り組み」、「リニアの開業効果を県内全域に波及させる取り組み」（「整備方針」）を明らかにする、としています。

リニア駅の機能面についてのみ触れると、「基本方針」の案より「交通エリア」でスマート ICからのランプウェイが大きくとられ、駅の南北を結ぶ基幹道路や新山梨環状道路との結節を意識したものとなっていること、駅南側の「観光交流・産業振興エリア」を「基本方針」案より一体化したものであることなどが目につきます。

リニア山梨県駅エリアと施設・機能（イメージ）



（「リニア環境未来都市 整備方針」（山梨県HPより））

3. リニア山梨県駅予定地など現地は

リニア山梨県駅予定地は、特に動きが見られませんでした。

前回訪問に引き続き、笛吹市のリニア実験線が展望できる「八代ふるさと公園」の「リニアの見える丘」を訪ねました。

当日は実験線の試乗日ではありませんでしたが、テスト走行と見られるリニア車両が目の前を通過していきました。低速のため、音もなく滑っていく、という感じでした。

公園には前回訪問時にはなかった展望台が設置されており、リニアの走行する風景を更に楽しむようになっていました。



リニア山梨県駅予定地



八代ふるさと公園・リニアの見える丘と新設展望台（笛吹市）
（リニア対策課撮影）

（飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平）